

令和3年度地域医療に係る市民ニーズ調査（結果報告）

（調査期間）令和3年10月29日～12月10日

（意見）のべ35件（電子申請23件，メール申請11件，意見投函箱1件）

○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u> 件	○地域医療に係る取り組み等
<p>①市内に分娩可能な産婦人科を</p> <p>②休日や夜間の医療体制の構築を</p>	<p>①産科の開設と②休日や夜間の緊急診療の再開に向けた取り組みとしては，先進事例を調査研究するとともに，個別に対策を検討し，関係機関等と調整しながら早期の実現を目指しています。</p> <p>進捗としては，まず，石岡第一病院と筑波大学附属病院のご協力により，令和3年7月18日から，こども休日診療を開始しており，日曜日・祝日・年末年始におけるお子さまの急な発熱などに対応しています。</p> <p>内科の休日・夜間診療については，関係機関等と調整しているところですが，現時点では，コロナ禍で対応が難しいとの見解をいただいています。今後，コロナの状況もみながら，引き続き，関係機関等へ協力を仰ぎながら対応を検討してまいります。</p>
③高齢の医師が経営するクリニックの事業承継へサポートを	③の事業承継へのサポートについては，現在，国の補助制度（個人の開業医は対象。医療法人は対象外。）がありますが，県や市レベルでの制度はありません。今後，国の補助金の周知を図るとともに，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。
<p>④医療に係る調査の実施を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が医療機関選びをするための目安にするため（患者の満足度，治療実績，力を入れている診療分野など）</li> <li>・医師や医療スタッフから行政や市民に対する要望を聴取</li> </ul>	④医療に係る調査については，当該市民ニーズ調査のほか，地域医療需要動向調査や市民満足度調査を実施しています。今後も，地域医療の充実に向けて必要な調査については，関係機関と協議等の上，実施を検討してまいります。
<p>⑤地域の医療リソースがひとめで分かるように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石岡地域独自の「医療マップ」を作る</li> <li>・近隣自治体も含め，どういう病院がどこにあるかなど，地図上ですぐ分かるものを</li> </ul>	⑤地域の医療リソースについては，これまで市では，石岡地域医療計画策定時に「石岡地域医療機関マップ」を作成したほか，「茨城県救急医療情報システム」を使った医療機関等の検索について，市の広報紙やホームページ等で周知しているところです。地域にある医療リソースの周知については，取り急ぎ，ホームページ上に地域の医療機関一覧等を掲載するとともに今後，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。
⑥医療相談アプリ LEBER（リーバー）の活用促進を	⑥医療相談アプリ LEBER(リーバー)については，石岡市内の0～3歳の子どもがいる世帯に向けて，24時間医療相談ができるアプリを無償提供しているものです。対象世帯への周知については，市の広報紙やホームページのほか，通知の送付，赤ちゃん訪問等の際に，チラシの配付などを実施しています。今後も引き続き周知に努めてまいります。

<p>○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u>件</p>	<p>○地域医療に係る取り組み等</p>
<p>⑦医療体制の整備を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理や公設民営での病院運営も視野に入れた医療体制の整備を</li> <li>・近くに公的な医療体制の整備を</li> <li>・旧石岡市医師会病院あたりの場所に総合病院を</li> <li>・石岡市街に拠点となる公的医療機関の設置を</li> <li>・八郷地区に病院を</li> <li>・八郷保健センターに公的診療所（小児科・内科・整形外科）を</li> <li>・八郷消防署を八郷総合支所周辺へ移転し、既存施設（交番・市役所・保健センター）と新設施設（公的診療所・八郷消防署）を組み合わせた八郷地区の医療体制の整備</li> <li>・クリニックと総合病院とのネットワーク構築など出生から終焉まで身近な地域で完結できるきめ細かな医療を</li> </ul> <p>⑧医療機関までの移動手手段の確保を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域にコミュニティバスの導入</li> <li>・地域に定期的に回ってくるモバイルクリニックの導入</li> <li>・病院と石岡駅を結ぶ公共的なバスの導入</li> <li>・各専門の医師が定期的に各地域（小学校や公民館などを拠点として）を周り、希望者はその日にいけば診てもらえる仕組みの導入</li> </ul> <p>⑨医療機関（若手医師等）の誘致を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の奨学金制度（看護師向けも含む）の創設</li> <li>・診療所の開設補助，土地提供</li> <li>・ふるさと納税による寄付（地域医療）</li> <li>・医療者用に無料の宿舎を提供</li> <li>・医師の子どもの学費や保育料を無償化</li> <li>・地元出身の医学生，研修医の講演会の開催</li> </ul> <p>キャリア教育により新たに医師を目指す子どもを増やし，同時に，講演会を通じて，医学生や研修医が地元へ愛着を持つ機会を作る</p> <p>⑩医師不足を補う工夫を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八郷地区にある既存病院（精神科の病院）の診療機能の拡充</li> <li>・訪問看護ステーションの誘致</li> </ul> <p>⑪救急体制の充実を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の病院での救急車の受入割合を増加（救急受入を断られる数も減らす）</li> <li>・ドクターヘリの拠点を整備</li> <li>・車両搭載型 CT 装置の配備</li> </ul>	<p>⑦～⑪医療体制の整備等については，現行制度上（医療法等），石岡地域において新たな病院を開設することができない（事業承継による開設等を除く。）中，既存の医療機関の機能強化や連携強化，医師等の確保対策の実施，クリニックの誘致などが対策として考えられます。</p> <p>今後，先進事例や本年度実施の調査結果等を踏まえ，将来の地域医療のあり方について整理するとともに，必要な医療体制の整備に向けて，効果的な手法等について関係機関等と協議をまいります。</p> <p>なお，旧石岡市医師会病院については，市内医療法人により，令和4年2月から新たに「石岡共立病院」として開設の予定と伺っています。診療科等については，随時，ホームページ上の「地域の医療機関一覧等」の情報を更新してまいります。</p>

<p>○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u>件</p>	<p>○地域医療に係る取り組み等</p>
<p>⑫地域医療に係る情報を共有できる環境を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民，医師，行政等が地域医療についてフラットな立場で話しあえる場が必要</li> <li>・市民自らが地域医療をどうしていこうか議論を交わす場が必要</li> <li>・地域医療に係る情報を市民へ丁寧に発信</li> <li>・市の広報紙へ医療情報等の連載</li> </ul> <p>医療について正しく理解するために，情報（医療知識）の「基本のキ」を理解するための情報提供を</p>	<p>⑫地域医療に係る情報については，これまで市の広報紙やホームページを活用して周知をしておりましたが，今後は，広報紙への連載等も含め，より丁寧な情報発信に努めてまいります。</p> <p>また，地域医療についての意見交換の場については，既存の組織の活用のほか，今後，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。</p>
<p>⑬その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車が来るまでの緊急対応マニュアルの作成とその講習を</li> <li>・高齢化や過疎化に伴い，病気や病気の重症化を未然に防ぐ工夫や仕組み（ヨガ教室や養生の知識など）を市レベルで作成を</li> <li>・病児保育が必要</li> </ul>	<p>⑬予防医療や緊急対応の講習，病児保育等については，今後，関係機関等と協議の上，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。</p>